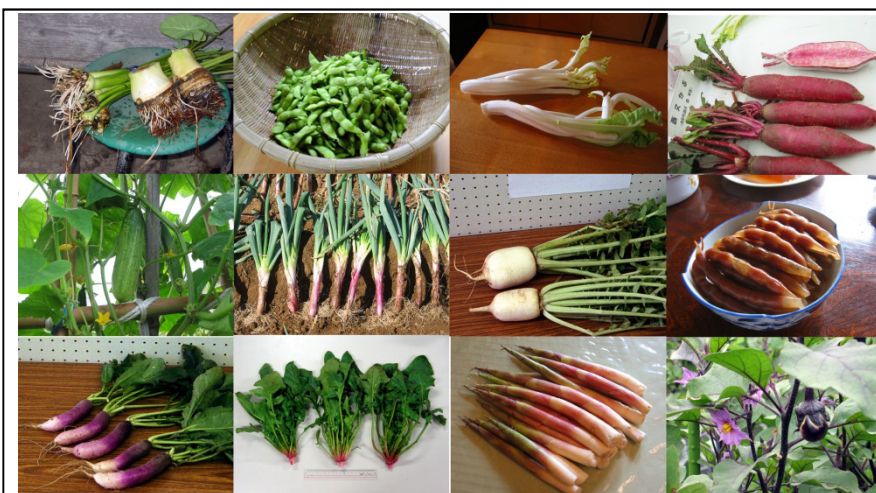


受験生のみなさんへ

『 在来作物に関する研究 』

山形大学農学部植物機能開発学コース

教授 江頭 宏昌 (EGASHIRA, Hiroaki)



山形県には、個性豊かな在来の作物が160品目以上ありますが、その多くは栽培・流通効率が悪く長い間市場に受け入れられなかったため、栽培者は高齢化し存続の危機にあります。

在来作物にはこれからの時代に必要な3つの魅力を持っています。

- 1) 地域の作物や文化の多様性の保全
- 2) 地域のシンボルになる
- 3) 活用や継承をめぐって時間や空間、異業種を超えたつながりを再生するきっかけになる

そこで、個々の在来品種の価値を再評価するために、在来作物の食味特性の分析、DNAマーカーを利用した遺伝的類縁関係の調査、在来作物が伝えてきた歴史や文化など、多面的な調査を行っています。

そのために、私の研究室では古文書を含む文献調査、現地での見聞と実験からなるフィールドワーク、実験室での各種分析の3つの手法を用いています。

所属; 植物機能開発学コース

専門; 植物遺伝資源学

自己紹介; 未知の作物品種やその食文化を体験することが大好きです。読書、写真撮影、美しい風景や絵画や野山の草花を観るのも好きです。



連絡先; Tel 0235-28-2852

e-mail egashira@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp